

2 Pre-Lesson 1 My Name Is Kimura Yui.

自己紹介してみよう

英語監修・出演 阿野幸一

きょうの目標 自己紹介（名前、年齢、出身地など）をすることができる

- 自己紹介をするときの am の役割
- 主語によって変わる be 動詞

文法・表現 主語と be 動詞の関係

自己紹介をするときの am の役割

自己紹介で自分のことを伝えるには、自分がどのような人物であるかの情報を相手に伝える必要があります。次の4つの文を比べてみましょう。

	名 前	年 齢	出身地	部活動	〈伝える情報〉
	I am Kimura Yui.	I am fifteen years old.	I am from Tokyo.	I am a member of the art club.	木村結衣
					15 歳
					東京出身
					美術部の部員

どの文も の中の語句が I（自分）の情報を表しています。つまり

I am

I =

の関係にあることがわかります。

am は、主語である I と、 の主語を説明する語句をつなぐ役割をしています。

なお、I am は、口語では多くの場合、I'm と短縮形で使われます。

主語によって変わる be 動詞

am のように主語と説明する語句をつなぐ動詞を be 動詞といいます。be 動詞は、主語によって以下のように使い分けます。

I ➔ am (I の場合は、いつでも am)

He
She ➔ is (自分と相手以外の 1 人 / 1 つの場合は、is)
It

You
We → are (2人/2つ以上の場合は、いつでも are)
They

自分の名前を述べる際に、名前を強調して

My name is Kimura Yui.

と言うことがあります。この文でも

My name = Kimura Yui

の関係が成り立つため、isが、主語であるMy nameとKimura Yuiという名前がイコールの関係でつながれていることがわかります。

be 動詞の否定文と疑問文

■否定文

be 動詞の直後に not を入れると否定文になります。

I am not a member of the music club.

We are not junior high school students.

■疑問文

be 動詞を文のはじめに置き、最後に ? をつけると疑問文になります。

Are you interested in art?

- Yes, I am.
- No, I am not. / No, I'm not.

日本語を英語に置き換えても伝わらない

高校に入学して、どの部活動に入ったかを友達数名で報告をしているとします。日本語では次のような会話が行われます。

A: ねえ、何部に入ったの？

B: 私はテニス。

C: 私はバレーボール。

A: 私は吹奏楽。

これはごく自然な会話ですが、このまま英語に置き換えてしまうと、それぞれ

B: *I am tennis.

C: *I am volleyball.

A: *I am brass band.

のようになってしまいます。amはIと部活動をイコール(=)でつなぐ役割をしているため、

このページ掲載の文章・画像の無断転載を固く禁じます。

*は、間違った英文を指します。

「私＝テニス」というおかしな英文になり、これでは英語としてコミュニケーションが取れる文にはなっていません。正しくは、

I am a member of the tennis club. I＝テニス部の部員

I am in the tennis club. I＝テニス部に入っている

のように、Iと□□の部分でイコールの関係にして表現します。

出身地を伝えるときも、日本語では「私は横浜です」と言いますが、英語で “I am Yokohama.” と言うと、I＝Yokohama の関係が成り立つため、「私の名前が横浜」ということになってしまいます。正しくは、

I am from Yokohama.

となります。

あの先生のこの話!



部活動の「部」を英語にすると

club、そして team という単語で表現することができます。ただし、どちらを使うかによって意味合いが違ってきます。

* * *

club

同じスポーツや文化的な活動を行う生徒たちが集まって活動している集団を表します。その中には、試合や演奏会などに参加する生徒もいれば、そうでない生徒もいます。日本の中学校や高校で行われている部活動の多くはこの形態のため、club を使うことが多いです。

I am in the baseball club.

野球部を一つの集団と考え、部員がその集団の中に入っているということから、in the club のように、前置詞の in を使います。

team

試合などに出場するための集団を表します。アメリカの学校では、試合が行われる季節に合わせて、秋は football team (アメリカンフットボールのチーム)、春は baseball team (野球のチーム) というように、一人の生徒が複数の team に入って試合に出ていることがあります。

I am on the baseball team.

試合に出場するための野球チームの一員であり、team を構成しているメンバーであることから、on the team のように、前置詞の on を使います。